

みん 議会だより

つなみち

2016年7月20日発行

No.201

地域の味 野沢菜 (相吉地内)



6月定例会 6/15~17

補正予算、副町長人事	02
安保法制請願、意見書	02~03
委員会レポート	03~05
一般質問 町政を問う	06~11
町民登場 この人に会いました	12

津南町議会

検索

町のホームページでも議会だよりをご覧になれます。

発行：新潟県津南町議会 責任者：議長 草津 進

平成28年第2回町議会定例会が6月15日から17日までの3日間開催されました。初日は一般質問に6人が立ち、2日目も6人が行いました。最終日は、副町長選任、工事請負契約、補正予算について審議しました。専決処分1件を承認、副町長選任を同意、補正予算等議案5件を可決、請願1件を不採択、議員発議による意見書1件を否決し、定例会を閉会しました。

決まったこと

主な補正予算

一般会計

補正額 1億6,332万円

- 主な内容
- ① 湯沢駅前広域観光駐車場負担金増
 - ② コミュニティ助成事業補助
 - ③ 障害施設通所者交通費補助
 - ④ 県単農林水産業総合振興事業補助
 - ⑤ 農道拡幅改良工事増
 - ⑥ マウンテンパーク津南施設管理委託料
 - ⑦ マウンテンパーク津南ロッジ改修工事
 - ⑧ ニュー・グリーンピア津南修繕料、工事請負費

特別会計

国民健康保険特別会計

補正額 87万円

保険料賦課事務電算委託料増

(全員賛成)

介護保険特別会計

補正額 △49万円

包括的支援事業需用費等減

(全員賛成)

津南町病院事業会計

補正額 31万円

① X線カンファレンス用ノートパソコン購入

② 全自動赤血球沈降速度測定装置購入

(全員賛成)

⑨ ニュー・グリーンピア津南運営支援基金積立金増

⑩ 生活道路消雪施設事業補助

(全員賛成)

工事請負契約の締結について

(仮称)津南町障害者福祉施設建設工事契約を可決しました。

契約金額 9,720万円

(全員賛成)

津南町副町長選任の同意について

小野塚均氏の副町長を同意しました。

(賛成多数)



前町総務課長、辰ノ口在住。60歳。

安全保障法制を論議

安全保障法制が施行された今日、あらためて町民から安全保障法制の廃止を求めて請願が提出され、議会で審議しました。

賛成討論

栗原 洋子

日本は憲法9条のおかげで70年間戦争をしてこなかった。安倍政権の解釈は、「日本が他国から攻められたら専守防衛で個別の自衛権を行使する。武力を持たない警察では個別的自衛権を行使できない。武力を持つ自衛隊は軍隊ではないし交戦権を持たないから、自衛隊を海外に派遣できない」というものだ。それを憲法上の説明なしに変えてしまい、憲法では認められていない集団的自衛権の行使「海外派兵」を認め、アメリカ支援に自衛隊を派遣できるようにした。憲法蹂躪だ。

安倍政権は「憲法は国民が守るもの」という。憲法は「国民が権力に対し、その力を縛るもの」だ。憲法を守る義務は権力者にある。慎重審議を求め、国民多数の声も無視して強行採決した。明らかな憲法違反で、廃止しかない。

請願 安保法制の廃止を求め

る意見書の提出に関する請願

提出者…つなん9条の会
総文福祉常任委員会では賛成少数
で不採択

本会議では賛成6、反対7で不採択

賛成討論

大平 謙一

この請願は、憲法違反と言われる安保法制の廃止を求めるものだ。多数の学者が憲法違反と言っている法案を、一内閣が憲法解釈を変え法案を作ることは憲法の精神を踏みにじるものだと思う。請願に対し、議員各位の賛同を願い、賛成討論とする。

発議 安全保障関連法の慎重審議かつ適切な運用を求める意見書について

提出者：村山道明議員

賛成6、反対7で否決

反対討論

乗原 洋子

本意見書案は安全保障関連法を認めたものであり、その運用に對しての慎重さを求めているものである。この議会が以前に出した意見書は、安全保障関連法の成立に對して慎重に審議するよう求めたものだ。

反対討論

中山 弘

政府はそれを無視し世論の大反対のなか、強行採決で法を作ったものであり、憲法違反である安全保障関連法の廃止を求めるべきである。戦争するなら慎重にせよというこの意見書案には反対である。

意見書の内容は生ぬるく危機感が感じられない。優しすぎる意見書に反対する。広島、長崎、沖縄だけが戦争被災地ではない。新潟、長岡の慰安花火を想ってもらいたい。津南町でも何人も戦死している。

70年間の平和は憲法9条や国民の権利があったからである。人間は100%の過ちはないといい切れず、次々と変わる総理大臣の判断では将来が不安である。2020年のオリンピックにもしものことがないように、津南を日本を想う心を見直していただきたい。

総文福祉常任委員会
委員会レポート

県内視察

とき 4月28日(木)

ところ 新潟市内

内容 「NPO法人新潟ねっと」を訪問し、代表で社会福祉士の村山賢さんから引きこもり等の実態や支援策についてお話を聞きました。

村山さん自身もうつ病を患い奥様も難病を抱えるなか、「病気だから社会に出る機会が減るのは不公平だ」と考え、自分たちでできることをやるしかないと思い、「新潟ねっと」を立ち上げました。新潟市の空き家対策事業を利用し、「イツモノトコ」というひきこもり等の人々が日中自由に利用できる空間を作り、社会復帰に向けた支援をしています。

津南町でも、社会福祉協議会と協力し、毎月第1・第3火曜日に「イツモノトコin津南」を開催しています。悩みを聞いたり、就労に向けたトレーニング等をご指導いただいています。また、町内全戸の実態調査を可

能な限り行ってみたいとのことでした。それを基に、県内のおよその実態が把握できるとのことです。

ほか、新潟県議会棟、新潟県警察本部交通管制センター、通信司令室を視察しました。

視察を終えて

ひきこもり等については、家庭内のことと感じていましたが、実際に経験された方のお話で実態がよく分かりました。津南町でも、月2回ではなく、いつでも自由に出入りでき、就労支援ができる体制づくりを関係機関と連携し、作り上げる必要性を感じました。

(担当：河田 強一)



新潟ねっと代表者との懇談

民生児童委員との懇談会

とき 5月18日(水)

ところ 役場大会議室

内容 町全体の民生児童委員39名との懇談会を開催しました。

「障がい福祉部会」では、生活環境の整備や補聴器購入に対する補助の要望があり話し合いました。

「青少年福祉部会」では、町内のひきこもり対策について社会福祉協議会で月に2回開催している相談支援「イツモノトコin津南」の活用や、保育園の統合などの意見があり議会としての考えを述べました。



引きこもり支援シンポジウム(町文化センター)
当事者たちのトークセッション風景

「高齢者福祉部会」では、美雪町住宅や大船団地の建て替えに伴い、低所得高齢者への低家賃化の要望がありました。

「地域福祉部会」では、障がい者用トイレの整備とマップ化の提案をいただきました。



障害者用トイレへ案内板を

懇談会を終えて

民生児童委員の皆さんは、地域を限なく把握しお年寄りや子ども、障がい者などが安全で安心した生活が送れるよう見守りや相談などの活動をしていただいていることに感謝いたします。今回いただいたご意見は当委員会できるとともに、行政とともに動いていきたいと思えます。

(担当：風巻 光明)

産業建設常任委員会 委員会レポート

農業改良会議並び経営・ 生産対策推進協議会

とき 4月22日(金)

ところ 役場大会議室

内容 各農業関係団体から新年度の事業計画、方針が発表されました。

● 農業者の所得増大、生産拡大による持続可能な地域農業の振興、地域の活性化などを重点に取り組む。

● 産業として成り立つ魅力ある農業の推進、農地集積、集約化に取組み、所得確保、6次産業化などを図る。

● トップブランド米として食味、品質の推進。広大な農地での雪下人参、アスパラガス、ユリ切り花など収益生の高い品目を中心に高付加価値型農業に取り組んでいく。

課題

● TPPについて情報開示がないなか、影響が相当あるだろう。今後の農業のあり方が大きな課題となる。

● 担い手不足、新規就農者の確保、定着に支援が必要。

会議を終えて

19団体の発表を聞き、町の農政に真剣に取り組み、持続可能な農業に向けて日々大変努力されていることに感謝します。高齢化による農家、農業者の減少、TPP対策など課題は山積みですが、小規模農家、家族農業を大事にする温かい政策が必要と思えました。

(担当：栗原 洋子)

所管事業成果巡視

とき 4月28日(木)

ところ 町内

内容 割野地区、外丸地区、大割野地区の3箇所で消雪パイプ布設換え工事があり、通学路改良を含めた工事で、鉄管から塩ビ管に換えた舗装工事を伴った施工でした。

美雪町の町営住宅では4世帯共同住宅で1階は鉄骨造りで2階が木造の従来同様の建設(H棟)でした。

卵之木の雪冷熱利用野菜集出荷貯蔵施設(雪室)は今年の消雪で雪集めに少し難儀があったようですが、室内はたくさん雪で埋まっており一年間は持つとのことでした。

「津南町は雪国なんだ」と改めて感じる視察でした。消雪パイプや雪室、克雪住宅や湧水利用の小水力発電と雪国ならではの

巡視を終えて

見玉の直売所は地域らしさを出した、こじんまりした空間がほっとする店でした。トイレは和式から洋式に換えたものでした。



小水力発電（源内山）

側溝を含めた舗装拡幅工事後も順を追って進めます。源内山の雑水山第二発電所は鉄骨平屋建てでφ600mmの導水管で39kWの発電機でした。



雪室施設（卯ノ木）

事業でした。これからも変わる事のない雪との思いを苦から楽にしたいものです。

（担当：中山 弘）

長野県小諸市行政視察

とき 5月13日(木)

ところ 長野県小諸市役所 他

内容は、新ごみ処理施設の建設と運営について先進地視察を行いました。概要は、

- (1) 本年1月から稼働している新ごみ処理施設「クリーンヒルこもろ」は、建設候補地を公募で決定し、また地元住民の意見をとり入れて進められた。ごみ焼却で発生した余熱を利用して温浴施設を設備し、住民に開放している。
- (2) 新焼却炉は広域ではなく市のみで建設。国要件もあり焼却施設と他の施設を組み合せなければ実現できなかった。注目は、DBO方式（設計、建設、運営の一括発注方式）を採用したところである。これにより民間業者の持つノウハウを活用し、また市の分別に効率的な処理が行える。能力は1炉24トン、1日16時間稼働処理する。

以上が主な内容でした。



「クリーンヒルこもろ」の説明を受ける委員

視察を終えて

当地域のごみ処理施設修繕、業務委託等は組合でも検討を重ねているところではありますが、当委員会においても引き続き調査を実施し、より有効な方向性を考えていきます。

（担当：津端 眞一）

水不足緊急水源視察

とき 6月14日(火)

ところ 町内

内容は、今年の水不足は異常小雪と春の高温によるものであり、例年より時期的に早く、夏の気



大谷内ダムの湯水状況

象状況によっては農産物等への影響が懸念されることから、調査を実施しました。主要なダム、調整地は上野のため池以外、底が出るほどの異常減水であり、また水源の川も水量不足でした。雪国は雪が降らないと困ることを痛感させられました。調査後の委員検討会では、各集落のため池が取り上げられ、地域で話し合い、対策を打った集落もあることが報告されました。今後は土地改良区やJAと連携し、水の使い方にも工夫が必要と思われました。梅雨時の雨が望まれます。

（担当：大平 謙一）

町政を聞く!!?

一般質問

① 半戸 義昭 議員(P6)

1. 高齢者のひきこもり対策について

② 中山 弘 議員(P7)

1. 水資源の有効利用について

③ 大平 謙一 議員(P7)

1. 今後の津南農業について
2. 津南町人口ビジョンの対応策について

④ 藤ノ木 浩子 議員(P8)

1. 療養病床の重要性について

⑤ 石田 タマエ 議員(P8)

1. 福祉住宅構想について

⑥ 恩田 稔 議員(P9)

1. 空き家対策について

⑦ 栗原 洋子 議員(P9)

1. 兼業農家への支援と根強い農政について

⑧ 風巻 光明 議員(P10)

1. 今後の津南農業について
2. 文化財保護の今後の計画と対応について

⑨ 村山 道明 議員(P10)

1. 集落消防設備器具の整備支援について
2. 大船団地共用部分費用徴収について
3. 訪問看護ステーションの運営について

⑩ 吉野 徹 議員(P11)

1. 公共施設等総合管理計画の進行について
2. 限界集落等への支援計画について

⑪ 桑原 悠 議員(P11)

1. 子育て支援の充実について

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

高齢者の孤立をふせげ

問 高齢者用施設そだき宛の利用について伺う。最近の利用者一日平均30人位で、以前より利用者が減少していると聞いているが、利用料を無料にしてはどうか。

町長 家に閉じこもりがちになる高齢者に対し集落センターなどを利用し、いきいきサロン、健骨体操など行っている。老人クラブ活動などを通じて積極的参加を促したい。町保健師も巡回訪問しているが近所の声掛け、見守りも期待している。

問 津南町では、一人暮らし483世帯、二人暮らし416世帯ある。地域性が徐々に失われていく中で高齢者が孤立することがないよう新たなコミュニティ作りが必要と考えるが答弁を求める。

高齢者の引きこもり対策は



半戸 義昭 議員



緑が欲しい運動公園

町長 同様の施設ができてきており、無料にすることが適切であるか、あるいは、公平であるか、適切な対応が必要と考えている。

問 中津川運動公園の環境整備について伺う。運動公園内は植えたばかりの桜の木がある程度でなぜか寂しい。花があり緑がある、そんな公園にできないか。

教育長 中津川運動公園については、整備が完了したとは思っていない。現在、具体的に決定しているものはないが、今後空いているスペースを、花と緑をキーワードにどのようにしていけばよいか検討していきたい。いずれにしても行政だけでなく利用者を含めた多くのかたの協力が必要と考えている。

水資源の有効利用は



中山 弘 議員

町中央部の 水不足解消は

問 大割野全水路の見直しが必要である。流雪溝と生態系に配慮した整備の具体案はあるか。

町長 現在は生活用水、農業用水を利用して消雪を行なっている。流雪溝設置には取水可能な水源が安定していることや、運営する組織づくり、ルールづくりなどを定め運用される。船津川から取水しているが昔からの許可水利権があり、他用途には難しい。

問 夏に備え中津川からの増取水は考えているか。

町長 正面ヶ原頭首工と割野頭首工からしろかき期とかんがい期、非かんがい期に水利権を有している。農業用水としての必要水量は確保されている。

副町長

中津川河川環境検討



鮭遡上は考えていない新魚道

会をつくった経過がある。子どもの水遊びや景観にも水が少なすぎる。

新魚道の効果は

問 中津川右岸に新魚道ができた経緯と今後の効果検証はおこなうか。

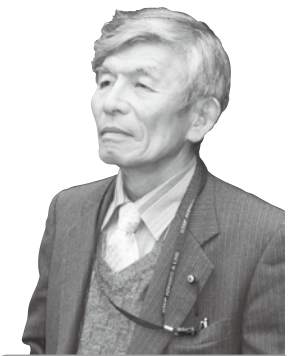
町長 東京電力の事業である。今のところ魚道効果の検証を実施する予定はない。

問 小学生に鮭稚魚放流参加を今後も続けていくのか。

教育長 新潟水辺の会や中魚沼漁協の好意により、中津川河口で鮭稚魚の放流を行っている。自然環境の回復につながるだけでなく、子どもたちの情操教育としても良い活動であり、今後も継続する。新魚道は小魚が対象であり、鮭が登ることは考えてない改修で残念である。

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

津南農業の今後について町の考えを問う



大平 謙一 議員

農業は高齢化している 農業の集団化は不可欠

問 津南の農業者は高齢化し離農者は毎年増加している。少しでもくい止めるために集落営農は必要だが考えは。

町長 各集落で要望があれば町として積極的に相談に応じる。

問 集落営農のリーダーになり手がいない現実がある。リーダーが生活できる基盤を町が補助、手助けが必要と考えている。特に冬期間の仕事がないと生活が安定しない。町で世話できないか。

町長 集落農業の組織化、リーダー育成は重要であり、法人の育成、集落営農、農業機械の共同化によるコストダウンを考える。どこにも負けない美味しい米作りによる経営の安定化を図ることにより担い手やリーダーが育つものと思っ

人口ビジョン 今後の対応策を示せ

問 最近地方紙で十日町市の合計特殊出生率と取組が紹介され成果が上がっている。津南は平成26年は大きく落ち込んだ。今後の対策は。

町長 津南の合計特殊出生率は県内トップクラスであり平成26年は落ちたが平成27年は回復している。津南の子育て支援、児童福祉など県内では上位であると思っている。

問 県内上位の子育て支援を町ではどのように発信しているのか。

町長 支援策は他と競うものとは考えてない。



駐車場が広がったひまわり保育園

療養病床が不可欠



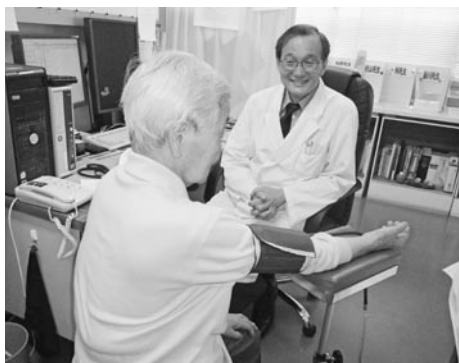
藤ノ木 浩子 議員

回復期、慢性期病床の機能もつ病院に

問 診療報酬で一般病棟の入院基本料の施設基準が定められている。看護基準7対1は平均在院日数が18日以内。急性期医療が終わった後、継続して医療が必要な人を受け入れる病院が必要ではないか。療養病床がその役割を果たしていると考えがどうか。

町長 「継続して受け入れる病院が必要」についてはそのとおりだが、療養病床でなければ果たせないかというところではない。

問 厚労省の資料では、療養病床に医療処置の欠かせない人が56・4%入院している。こうした人が急性期の病院から退院してくる。魚沼医療圏の療養病床の平均在院日数は126日。一般病棟で長期入院患者を診るのか。



先生の丁寧な診察を受けるおばあちゃん

町長 90日を超えて診療報酬の点数が下がる。収入が落ちるからといって患者を追い出すようなことはしてはならない。

事務長 療養病床は慢性期の患者が長期に入院する病床ではない。一般病床で対応するのに問題はない。

問 病院機能報告制度に基づいて津南病院は2014年7月時点と6年後も、回復期62床、慢性期52床と報告している。2020年、津南病院の病床機能をどう考えているのか。

町長 入院病床は全体で62床でよいかと考えている。

問 どう機能をもつか議論を。事務長 療養52床の継続も含めた中で検討している

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

福祉住宅の整備充実を



石田 タマエ 議員

町営住宅の入居を障がい者優先に

問 障がい者が住み慣れた地域で自立した生活を営むためには、衣食住が自立しなければならぬ。そのためには住宅の確保が大きな壁になっている。町内にある町営住宅の入居者の選考基準で障がい者の優先度を上げることができないか。

町長 選考委員会の意見を尊重して判断している。現在計画中の大船団地住宅は全室バリアフリーであり、ガスを使用することが危険な方には電磁調理器が使えるような考えで進めている。町営住宅の単身者用は、今後必要性について考える。

福祉住宅の整備充実を

問 単身高齢者や高齢者世帯、障がい者等独立した生活に不

安のある方々が、一つ屋根の下で互いに支えあい、地域の支援サービスを積極的に利用することにより、安心して生活ができる環境として福祉住宅が必要だと考えるが、今後整備する考えはないか。

町長 障がい者については、グループホームも含めて今後ニーズ調査をし、その結果で住環境整備の必要性を検討する。また、高齢者についてもシェアハウスの要素の住宅を現在検討している。



建て替え予定の大船団地

空き家どうする！対策は

問 解体への支援策は
空き家については解体を促進すること、活用することの両面から検討しなければならぬ。取り壊したいが、多額の費用がかかるため、そのままにしてあるものも相当あると思う。解体費補助や固定資産税の減額など支援策が必要ではないか。

町長 空き家や不良住宅の除去には国の補助事業があるが、様々な要件があり活用が難しい。基本的には所有者責任であり、放置しておけば最後は行政が面倒みてくれるといった風潮も懸念されることから、町の単独補助は考えていない。しかし解体費用の圧縮については仕組み作りの研究をする。また、県町村会を通じ国への働きかけも進めている。



恩田 稔 議員

移住の推進、 情報発信力は

問 人口減少対策の一つが都市からの移住・定住である。役場のホームページにも津南町移住推進協議会で紹介しているが、若者を引き付けるような情報が少ないし、津南の魅力が十分活かしていない。新規就農者や地域おこし協力隊など、若者の生の声を載せるなど工夫が必要でないか。今後どう進めるのか。

町長 今年実施する空き家調査は、物件の詳しい情報や状態、家主の意向などを収集し、移住希望者のニーズにあった情報を提供する。また調査結果を踏まえ空き家バンクのホームページも魅力を感じてもらえるように改修し、お試し体験のできる空き家を増やし、津南の良さを感じてもらえる環境整備を進める。



津南のお試し住宅

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

国の農村切り捨て政策をどう思うか

兼業農家への支援と 根強い農政へ



栗原 洋子 議員

問 津南町の農家総数は平成22年度1710戸、27年度は1506戸と200戸以上も減少。しかし米価暴落やTPP批准の不安などが、今後更に離農への衝動を強めている。国は「食料、農業、農村基本計画」の中で、農業従事者数を全国で350万人から10年後90万人にし、津南町では3386人から670人になり、集落数は78から9になるとある。また国は市町村合併を更に進め、集落合併も進めようとしている。夢と希望のもてる農村とは正反対である。町長はこの基本計画と10年後の津南町をどう考えているか。

町長 高齢化は着実に進んでいる。平成27年度65歳以上の農業従事者数は63%に達している。今後交付金事業等を活

用し、地域農業を継続できるように考えていく。

問 TPPで重要5項目の約3割が関税撤廃だ。国会決議を無視したTPP協定に強く反対すべきだ。

町長 妥協、妥結の繰り返しの中で少しでも守り抜くことが交渉の鉄則だ。国は努力している。

問 後継者不足が深刻な中、Uターン者や新卒就農者は重要である。一定の所得補償も必要。Uターン就農者の悩みや要望などを聞き、営農が続けられるための支援が必要ではないか。

町長 青年就農給付金事業で、最長7年間、年間150万円の給付を受けられる。**地域振興課長** 跡継ぎ、Uターン農業者への支援は少ないが、できるだけ対応したい。

新規就農者も貴重な担い手
(谷内ファームハイツ)

津南町が農業で最重点に取組む課題は



風巻 光明 議員

農業の今後緊急に取組む施策は

問 町の農家戸数の10年間の減少率は28%と町の人口減少割合の倍である。また超高齢化産業となっており、危機的な状態だ。そこで今後、緊急かつ最重点で取組む課題と施策は何か。

町長 稲作については米の消費量が減少する中、産地間競争は増々激しくなる。津南町認証米の生産を拡大し、農地集約による規模拡大を図り、作業の効率化や機械の共同利用によりコスト削減が必要。畑作については労力の軽減策として機械化を検討し、雪室による有利販売も継続する。

農地規模拡大の施策は

問 農業のコスト低減対策として2年前に農地中間管理機構の集積バンクがスタートし

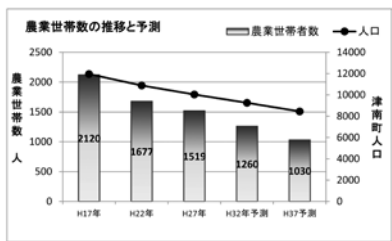
たが、進捗状況と促進する施策は何か。

町長 昨年実績では40件、面積22畝で1千540万円の協力交付金を受けている。今年も1集落が10畝の目標で進めている。今後、集落での話し合いで集約化を行い農地を守っていくことに期待する。

遺跡発掘作業はいつまで続けるのか

問 遺跡調査・発掘は町の負担率も高いが、町の財政を鑑みた今後の方針を問う。

町長 埋蔵記録保存を目的とした文化財包蔵地への開発工事がなければ新たに発生しない。一方保存活用目的の場合、今後発生することもある。国指定の沖ノ原遺跡保存活用は未だ不十分であり県や文化庁と相談していく。



減り続ける農家戸数

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

集落の消防器具更新に助成を



村山 道明 議員

消防ホースや格納庫が劣化

問 近年火災が多発している中で、集落内の消火栓ホースや格納庫などが老朽化し新しくする必要が生じている。集落負担軽減のために助成できないか。

町長 消火栓本体は、無償貸与している。また、付帯するホースやノズル・格納庫は集落対応で計画的に整備していただきたいと考える。

大船団地の共用部分の負担は

問 建て替えによるエレベーターなど、共用部分の保守点検費用を家賃と別に共益費を徴収するの。

町長 従前より共有部分は入居者負担である。建て替え後のエレベーターの調査点検は所有者の責務であるため、定

期検査及び保守点検費用は町で負担する。

利用状況が少数だが

問 訪問看護ステーションは、4月から7人体制で運営開始されているが利用状況はどうか問う。

町長 4月は4件、5月7件の実績である、この事業は利用者を増やして経営ベースに乗せることも当然であるが、いまご家族の方には大変喜んでいただいている。今後この事業を継続的に行っていくためには、常勤看護師1名を増やす必要があると考えている。



集落内消火栓ホース・格納庫

公共施設等総合管理計画を問う

計画策定委託の 進行経過は



吉野 徹 議員

問 町の公共施設等における総合管理計画費として1千万円計上した経過と、購入した宝山荘の活用策は。

町長 固定資産台帳を整備し、すべての施設等の状況を把握し、それぞれの価値を見極めて、更新や廃止を含め検討していく。財政負担を考慮し最良の方向性を示したい。今年度中に計画策定を予定している。

宝山荘活用については、良質な温泉であり地域の活性化を考える中での購入であった。現在、民間業者から施設活用プランの提案を受けているが、具体策は未定である。

限界集落等への 支援計画は

問 総合振興計画後期基本計

画の中で準限界、限界集落への対応策は。また、商工業者への支援策は。

町長 限界・準限界集落への策として、定住基盤チーム・農林水産チーム・商工雇用チーム・社会福祉チーム等で検討されており、その取り組みを軸に集落へとつなげ、財源などを判断しながら存続ができるように進めて行く。

商工業者に対しては、県セーフティネット資金や利子補給など各種制度融資を継続して支援する。また観光施策と連携しながら商業の発展を促したい。



増えていく空き家

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

子育て支援の取り組み・センスを問う

30年度に建設計画だが



桑原 悠 議員

問 保育園改築と同時に子育て支援センターと学童保育を併設した多機能児童福祉施設の建設計画があるが、具体的な計画をうかがいたい。また、館内に職場復帰やスキルアップ講座などができるセミナー室を設けたり、遊具・玩具についても、子育て世代のニーズを反映できるように、建設前にじっくり調査・分析期間を取り、町民と一緒につくり上げる過程を経てほしいがどう考えるか。

教育長 平成26年の審議会の答申では、「将来の保育園を2園にし、そのうち1園は子育て支援センターや児童館を内包する新保育園を建設することが望ましい」とある。津南小増築のめどがついた後、詳細な整備計画を策定する。その際、館内施設や遊具につい

ても、ニーズを把握したい。事前にニーズ調査が十分に行われれば行われるほど、皆さんの期待に沿う施設になると考えている。

これも子育て支援では

問 町内のイベントで乳幼児連れで参加する方々やファミリーの観光客を見ていると、移動式赤ちゃんスペース（授乳用テント、折りたたみ式おむつ交換台）があると良いと感じる場面が多い。導入の考えは。

町長 昨年初めて津南まつりで試みたが、周知不足か利用が少なかった。今年は、仮設の冷房設置や周知方法を検討する。専用備品の購入は検討するが、「あったら良い」という程度で予算の動向が適しているとは言えない。



わくわくする遊具できるかな



町民登場

この人に会いました・・・



はやし ち なつ
林 千 夏さん(津南町観光協会)

Q 津南町で働く理由は？

十日町市に嫁ぎましたが、やっぱり津南が落ち着きますね。生まれ育った津南町で多くの人と触れ合える仕事がしたいと思いました。聞き慣れた方言が飛び交っているのがうれしいです。

Q 観光の仕事はどうですか？

お客様の要望に合わせてご案内したり説明したりするのが楽しくもあり、難しいです。実際自分で訪れ、感じたことをお話しするようになっています。逆にお客様に教えてもらうこともあり、日々勉強です。

Q 「働くママ」は大変？

3人の子どもを保育園に預けながら働いています。大変なこともあります。が、職場に理解いただいている

ので本当にありがたいです。もっとママが働きやすい職場が増えるといいなあと思います。

Q 目標は？

今年には英会話にチャレンジします！英語で案内できるようにになりたいですね。あとは、大好きなさつまいもとスイカをいっぱい食べることかな♡



千夏さんとともに夏を待つひまわり

編集後記

Editor's
postscript

4月14日、震度7を記録する大地震が九州で発生しました。5年前に長野県北部地震を経験した私たちは、いち早くお手伝いができればと、19日に「熊本地震災義援募金活動」を全議員で行いました。結果、J A津南町前とメルシー津南前の2カ所で877名の方からの募金506,724円が集まりました。この義援金は4月25日に熊本県を通じて被災された方々に送金しましたので報告します。あらためて津南町の人柄を感じ喜んでいるところであります。皆さん誠にありがとうございます。(中山)



メルシー津南店前